



行政

仙石原湿原ススキ撒き散らし作業

箱根の代表的な景勝地である仙石原湿原は、未来に残したい草原の里100選やかながわの景勝50選、かながわの花の名所100選にも選ばれ、多くの観光客に親しまれている貴重な地域となっております。

その仙石原湿原の植生を維持するために毎年3月に火入れを実施していますが、燃え残ったススキが地面を覆ってしまうため、湿原全体に満遍なく日光が当たるように、神奈川県自然環境保全センター主催で、ススキの撒き散らし作業を行っています。

自然に配慮した生活

町内のほぼ全域が国立公園であることを理解し、自然環境に配慮した生活・活動を行う。

森林の多面的機能の確保と森林整備の推進

森林における生物多様性の保全や、自然環境の調整等の多面的機能の保全に努める。

自然環境の保全

自然を保護すべき地区について、引き続き国・神奈川県と連携しながら保全の推進を図る。



火入れ後、燃え残ったススキは刈られて一カ所に集められているため、長い棒などを使い、地面に日が当たるように撒き散らす。

また、この時期はススキがなく、地面が見えるため、空き缶などのゴミも見つけやすいので、ゴミを見つけたら回収も同時に行う。

仙石原湿原は県道 75 号線の湿生花園側、約4.7ヘクタール(800m×276m=220,800 m²)の広大な土地です。

ススキの撒き散らし作業は神奈川県の主催で、環境省と箱根町も協力し、国・県・町の体制で今年は6名2班左右に分かれ、合計12名で作業をしました。



担当部署:企画課 企画係 【TEL:0460-85-9560 /Mail:kikakuka-t@town.hakone.kanagawa.jp】

